

景眞之近附屋阪松路小廣野々シハ襲=火猛+震激

(報畫災震大部帝)



大正十二年九月一日午前十一時五十八分關東地方未嘗有の大震災起り地が龜裂を呈し家屋倒壊し東京市内八十餘箇所より火災起り一面火の海と化し水道も断水し風勢強利として消防も負傷者も甚多し死者も甚多し道路を以て埋れ逃げ場も失ひ其惨状目も當らず流火家屋三十六万余戸死者十万余人不明者廿万員傷四十万と算せし難避難者互に安全地逃れしを各捕獲官交通社宛の爲其多數廣域避難し無數の旋風火の渦を巻き群衆の頭上落下し持止し荷物一時悉く火に爲員傷者及出しある最も甚大なる場所あり

一焼失戸数三十六万六千二百六十二戸 一焼失区内芝罘町神田日本橋京橋赤坂下谷浅草本所深川一犬島町一部

天
大正十二年九月十五日印刷
今年九月廿日發行

發行所 公所

東市邊通海兵衛町四丁目
浦野銀次郎
電話掛第一四三番
郵政省認可第一三三番